

総合教育会議録（概要）

○町長、教育長のあいさつは省略し、以下、協議内容の概略を示す。

教育長

学校現場では学習指導要領の改訂を受けて2020年は小学校の全面実施また2021年度の中学校の全面実施を受けて準備を進めています。子ども達を取り巻く教育環境の整備も求められているところです。大山町におきましても町長部局と教育委員会部局が親密に連携を取りながら子ども達の健全育成、教育課題の解決に向けて話し合っていきたいと思えます。

協議事項は2点あるんですが、1点目の公民館分館と地域自治組織の関係について協議をさせていただきます。まず担当課より説明させていただきます。

社会教育課長

今回12月議会で地域自治組織と公民館分館とが二重行政に見えるということで一本化を図れるのではないかと一般質問をいただきました。公民館ですが中山・名和・大山の公民館があり、旧大山町エリアのみに所子・大山・高麗の各地区に分館があります。地域自治組織が立ち上がっているところ、これから立ち上がる場所があり、かつての分館長が集落支援員を兼ねるセンター長という形で配置になっています。センター長は各自主組織の事務局長を担っておりまして事業の推進等であったり、また会計を担っております。所子分館につきましては大山公民館の中に職員が兼務する形で運営をしているということで定まった施設はないんですけれども、大山と高麗につきましては大山分館が大山農村改善センターに分館を置いた形でそこにいる職員がセンター長1名と臨時職員1名とあと日直及び警備員2名の合計5名で運営しております。そこには大山農業トレーニングセンターが併設ございましてこれを指定管理に出している関係から大山分館では事務職の中には管理者であります株式会社チューブの職員1名が常駐しております。それと町づくり大山の事務局員が1名今は常駐している状態となっております。続きまして高麗ですけれども、こうれいコミュニティーセンターを拠点としており、そこに高麗分館を置いているという形です。ここもセンター長が1名、臨時職員が1名、日直警備員が3名の合計5名体制で運営しております隣接しております旧高麗保育所に地域自主組織かあら山がありまして、それぞれ活動を行っています。大山、高麗ともそれぞれ運営委員会があります。続きまして各地域自治組織地区協議会と各分館の活動状況ということで最初に各地域自治組織地区会議の展開状況ということで企画課長から説明をお願いします

企画課長

地域自治組織の活動状況ですが3ページ4ページにあります現在大山町内の10校区ありましてそのうち7校区に地域自治組織が設立されていま

す。

他の3地区につきましては平成31年度に設立できる状況で進んでいます。高麗と大山地区については高麗地区が平成24年に地域自治組織を一番早く設立されました。平成27年4月にまちづくり大山が設立されています。活動の状況は、地域の課題を自分達で解決していくという大きなテーマがございますので、自分達がきめられた活動をもとに補助金制度で施設管理をまわして上限300万円の金額で運営をしてもらっています。保育園で活動されると施設の管理費で100万円くらいは必要になってくるということであとは活動費で自分たちの地域の課題解決の事業に取り組んでいっているというのが現状です。

社会教育課
長

大山分館とまちづくり大山の事業ですが高麗も同じことが言えますが年間見ると大きい事業はおおむね共催事業になっているということです。分館としましてはサークル活動の支援や施設を利用する場合の集金、貸出管理、施設管理などもあります。施設管理は、平日は臨時職員と館長で対応しています。土日夜間の管理は警備員を臨時職員で配備しております。日常的な施設の管理としては各公民館の職員で行いますがもう少し大きい修繕工事になりますと中央公民館の入江専門員が執行しています。今後の方向性についてですが公民館運営の委託についての検討や行政のスリム化により、住民と共存して推進を図っていくこと、地域からの強い要望があるのならば施設管理等の業務の委託も検討していきたいということでもあります。その中での課題は、公民館分館として運営を委託するのか、あるいは今の状態のままなのかということです。大山農村環境改善センターに大山分館を置いておりますが、もとは農村の生活環境を改善していくということで設置されたセンターで、運営委員会を設置して活動を検討するという内容になっており、指定管理者の管理もできるという条件になっております。これいコミュニティセンターはもともと地域自治を意識した設置目的になっており、各種利用団体の代表をもって組織すると運営委員会が設置してあります。公民館分館を委託する場合は組織と協議していく必要があります。もう一つの選択肢として公民館分館としては、廃止して地域自主組織としての活動拠点とする方法もあるのではないかとあります。その場合は地域の課題に即した活動をしていく部分は、まちづくりと重なるわけですけれども一般的な生活課題についての学習は大山公民館で対応できるのではないかと考えているところです。センター長は集落支援員ですので、分館であろうが地域自主組織であろうが集落支援員という位置づけはかわらない。現在運営にかかわっている職員体制をどう維持していくのか、施設の管理や使用料の収入についてどうしていくのが課題になってくると思

います。所子地区におきましては、分館という組織の形があり、実行委員という形で、関わっていただいて、大山公民館で活動していただいています。

教育長 私の方から1点。12月議会の時に、大杖議員がまちづくり大山の方から、施設が非常に使いづらい部分があると聞いていると言っておられた。具体的にどういう部分があるのか、聞かせてもらいたい。

大山農村環境改善センター長 使いづらいというのは、行政財産であるならば、改修等をするにはいろいろ手続きが必要で、倉庫を一つ作るにしても、なかなか難しいということを使いづらいと申し上げた。現状できる範囲内で、やらしてもらっているが、思いどおりにやらしてもらいたいということです。まちづくり大山としては、倉庫を作りたいと考えています。

教育長 増設したり、改修したりする自由度を設けるには、今の公民館規則等でハードルになっているものは何でしょうか。

企画課長 設置管理条例があり、施設は使用の範囲が決まっている。それと、教育委員会の許可だと思う。

教育長 まちづくり大山の皆さんは、放課後など親が迎えに来れない子どもたちをロビーで預かっているいろいろな体験活動等を熱心にされている。使いづらいという意見には、そういった部分がある。

委員 こうれいコミュニティーセンターの運営については、いろいろな教室の代表者が関わっていると聞いたが、そういう人達の声や分館の声、そして館長も集落支援員として関わっておられるので、現状を聞かせてもらいたい。

こうれいコミュニティーセンター長 月に1回かあら山の定例会議をしています。4つの部会長が集まり話し合っているが、その中で一番大きな話というのは、いろいろな方に来ていただきたいが、やっている人も来ている人も年を取り、かあら山の活動が縮小気味だということです。

教育長 ふるさと高麗まつりは実行委員会形式でやっておられるが、自主組織の方と一緒にした実行委員会ですか。

こうれいC 兼ねておられる方もいらっしゃいます。

教育長 あれだけの規模の祭りで、子どもから高齢者まで幅広い方が集まっていて続いているというのは、かあら山の地区の繋がりの深さだと感じました。

企画課長 その他のまちづくりにも、自分達で考えられた拠点があります。まちづくり大山は大山のトレセンだが、高麗はこうれいコミュニティーセンターがあり、旧高麗保育所を活用しています。やらいや逢坂はまぶやという古い民家であったり、御来屋は漁村センターを条例廃止し自由に使ってもらっています。下中山は友好館の事務室だけ借りています。外で活動するから拠点はいらぬという考えです。庄内は旧庄内小学校の一部を、かあら山にもこうれいコミュニティーセンターを拠点にしてくださいという押しつけはでき

ません。委託事業などもあるが、こちらから強制的にやってくれということではないです。

委員 私もあまり理解していないが、議会からの指摘の中で、共催事業等二重行政という状況ではないかという質問があったが、これは、地域の中で大山や高麗も多くの部分で共催事業が多いということから、一本化という意味で受け取ったらよいのか。

社会教育課 自主組織も分館も、全く同じエリアを対象にしており、かつ地域住民の福祉だとか地域の課題をどうしたらよいかというところにおいては、ほぼ重なる。公民館の場合は、その他に、一般に広く学んでもらいたいというところやサークル活動支援などもあり、全くイコールではないです。

委員 もともと名和地区は分館がなく、本館一本でやってきているが、各地区にまちづくりができてやっています。大山地区だけは分館があって、その分今まではきめ細かく地域の人たちと交流があったが、それに加えて自主組織も並行してあるというのは、やはり将来的に見て一本化になってもよいのではないかと思う。細かさというところで大山、名和、中山と開きがあったと思うが、それが大山地区の大杖議員から声が出たということは、ちょうどよいタイミングで精査されてもよいのではないかと思う。名和地区はそういう地盤がなく、人との交流が少ないと感じていた。責任のある方も頑張っておられるが、だんだん人口が減り、そういう活動をされる方もどうなのか心配もあります。

企画課長 分館の問題と二重行政の問題は違う気がします。例えば、中山公民館と、やらいや逢坂のやっていることが二重行政だとよく言われます。分館問題と二重行政とは別物だと思います。自主組織をやっているところと、公民館でやっているというところが二重行政につながるということで、分館問題とは違います。中山地区や名和地区で二重行政がないかというところではないように感じます。

委員 中山、名和は、中央公民館で社会教育という大きな目的に向かって、青少年教育から高齢者教育を行っているところで、まちづくりが全部カバーできるかというところと全く別の問題で、やはり今の話とは違うと思う。大山地区でも中央公民館の役割はあるので、そういう機能は中央公民館でカバーができる。分館の活動を見ると、確かに大部分が共催事業になっている。中山、名和とは別に考えたほうがよいと思う。

委員 二重行政という問題があるから協議するんだと思っていたが、違うようで、分館は統合の時にもそのまま残していただいて、沈んでいるのにならなくなっているのかもしれないが、地元の思いもあってまちづくりでさらに活気づけ、大山地区は本当によく頑張っておられると思う。高麗もたくさん

行事を一生懸命やってきていて、そこに結論を出すのはとても心が痛い。重なっていて無駄があれば省けばよいが、そのあたりをスッキリさせて、そのことで反対はしないが、ここまでの背負ってきたものなどを大切にしながら、よい方法を探るためには、今スパッと省きましょうとか、こうやっていけばうまくいくという案があれば賛成できるが、ハッキリわからないので困っている。現実問題として、高齢化や担い手の問題があつて、集落支援員ということで館長のあり方が変わってきたというところから、分館の流れの方向性として色が変わってきたのではないか。もう少し精査して考えてもらわないと今日結論は出しにくい。

企画課長 地域自主組織が活動しやすいように委託事業に町がお金を払う、例えば、大山であれば野球場の管理を今はチュウブが行っているが、まちづくり大山に委託をして管理をしてもらうことで、ある程度解決していくのではないかと思います。下中山でも友好館の管理を今年の7月から受けていただいている。やりたいということで、町も安く受けてもらえるし、町民目線のきめ細かなサービスをしてもらえる。自主組織に事業を委託することで、町も軽くなるし、自主組織の財源にもなる。ある程度、公民館の内部のことも進んでくればと思う。中山であれば、運動会の補助金など、二重行政になっていないと思います。

町長 もう一つ、議論の根底に、分館が無駄だからなくしましょうということではなく、分館も活動していく、自主組織も活動が活発になってきた、うまく融合していく。マンパワーを集約していくというところで、今あるよい形をどうしたら一つにして、限られた力を集約して使っていくことができるのかというイメージでとらえていただきたいと思う。

この先、行政が隅々まで地域に入っていけない財政状況になっていくので、今まで企画や福祉社会教育でやっていたものを地域でそれぞれ動いていきましょうというのが、地域自主組織の活動範囲である。地域自主組織が活動する範囲と社会教育、公民館の中の分館が活動する範囲と重なっている部分があつて、町から特にやっていることと、補助金を出しながら自主組織でやっていることが重なっていることをどうしましょうかということです。なくすとかではなくて、どうやったらうまくやっていけるのかということと

委員 大山は地盤があるので、自主組織ができるところは自主組織に任せて、もっと違うところを住民の中にきめ細かく入っていくようなことを新しくやっていけばよいのではないかと思います。

町長 きれいにスパッと地域でわかれるわけではない。社会教育の部分で、こういう困りごとがあるからこうやっていかないといけないというのは分館で

はできない。それをやっていくためには、地域自主組織に活動が融合されていくとよいものになるんじゃないかと思う。

教育長 地域の課題を解決していくのに自主組織がやっていっているが、分館の運営を頼むものではなく、自主組織から地域の課題解決のことをやりたいという意見が出ないと、なかなかそっちの方向に行かないと思う。そういった動きが、自主組織にどのくらいあるのだろうか。

大山農村環境改善センター長 大山の場合は、前任の時からもそういう話は出ています。改善センターの役割もあり、そういった姿を見ていると社会教育という概念を持っていなかったが、公民館の一つの役割として地域づくりというのは非常に出てきています。自主組織も地域づくりとして出て来ているので、役員会では建物の管理運営ができるかという検討に入っています。

こうれいコミュニティセンター長 かあら山では、前からそうなるもんだと思っています。そうなることを望む意見がある。実際こうれいコミュニティーセンターには職員が2名、かあら山には25名いて、いろいろなところでフォローしていただいている。ゆくゆくは、高麗地区を支える若手の方をどうやったら活動に参加させられるかと考えると、自主組織で行政を当てにしない地域を目指したいと思っています。

委員 かあら山がものすごい活動されていて驚いている。公民館は社会教育や生涯学習としてきちんと位置付けられているが、自主組織は地域の課題解決といったほんやりしたもので、一緒にして当分はうまくいくと思うが、そのうちねらいは何なのかとか心配している。中央公民館があるので社会教育や生涯学習を広く担っていただいて、高麗と大山は今やっていることを大切にしながら、人を育てていく組織であってほしいと思う。少ない人数で沢山のことをやっているのも無理が来ているのは事実なのでよい方向になっていけばいいなと聞かせてもらった。

委員 大山の場合は、まちづくりの組織がしっかりしているし経験もある。将来性としてもよいものが描けるが、全部が全部そうでもない。まだまだ不十分なところがあり、これから少子高齢化が進んでいくが、おおもとの問題点が解決するわけではなく、どんどん伸びていくものではなく、ますます困難な状況になっていくのも予測される。今それぞれの自主組織で何とかやっていると実態もあると思う。もともとまちづくりを作ることになったねらいは自主的なもので、地域の課題を地域でやっとうと生まれた組織なので、町からの指導や強制力が強く働くという危険性もあるが、あくまで自主組織という部分を大切にしていく。ここまで全部の組織ができないといけないということではなく、地域に応じた、能力に応じた形での期待を町としては持っていて、無理のないようにしていただきたい。町長の言わ

れたことはよくわかるしよいことだと思いながらも、実態というか能力の差というか地域の差はあるので、そこはしっかり配慮しながら町として取り組んでいく必要があると感じた。

教育長
社会教育課
長

2番目の議題これからの成人式について

資料は29ページになります。平成34年4月1日に民法改正によって成人年齢が18歳になります。もともと成人式は民法による成人を祝うということではなく、発祥は地域の大人が若者が成人になったことを祝い励ますための式典で、特に20歳という限定はないです。その辺を今後どうするかということ。大山町では、毎年1月3日に行っており動かさないという方向で行こうと思っているが、その対象者を20歳とするのか、18歳にするのかが検討課題です。民法改正に合わせて18歳にすれば、2022年度には、3学年が一举に成人式の対象者となり、会場の確保が懸念されるため、従来通り祝うと表明をしており、その場合、成人式ではなくて20歳の祝いと改称している。参考資料の18歳以上の意識調査では、74%が20歳が望ましいとしています。その理由としては受験があるからなど。そういう状況の中で大山町の成人式をどうするかとして、1案としていままでどおり20歳で成人式を行う。2案として改正民法の成人年齢に合わせて18歳以上を対象とするという選択があるが、2案の場合は、初年度は3学年開催となるので、会場はどうか学年によって開催時期を変えるのかなどの課題を踏まえ、大山町の成人式をどうするのか意見交換をお願いいたします。

教育長

まず対象者をどうするか、開催時期はいつがよいか、名称をどうするか、ざっくりばらにご意見をいただきたい。

委員

20歳をお祝いするのがよいのではないかと思っている。やはり高校生だし、お酒も煙草もダメで、働いてもいない、受験もある。まだ落ち着かない年齢なので、20歳がよいと思う。20歳を祝う会とか、式とか。季節も8月というところもあるが、今の新年を迎えてお祝いというのがふさわしい時期だと思う。子どもたちも落ち着いていて、一生懸命話を聞いていた。

委員

就職している子どもや大学生活をして2年間過ごして改めて成人式で大山町に戻ってきて、新たに大山町のよさをかみしめたり、同級生や恩師との交流を深めたりするという意味で、子どもたちにとって18歳から20歳の2年間ってすごい激動で、私たちと比べ濃密さが違う。今の成人式がすごくいいなと思う。20歳を祝う会として今までどおりがよいと思う。

委員

外に出て帰ってくるチャンスというのは、20歳がちょうどよいかかなと思う。受験生は大変かなと思う。規模とかも今までどおりがよいと思う。

町長

日本財団が経年で調査していて、やはり20歳の方がよいという結果が

出ている。名前も民法では成年とうたわれているので、大山町では成人式でもよいと思う。

社会教育課 看板も大山町成人式として立派なものが作っており、副題で20歳の集
長 長 などもよいのではないかと思います。

教育長 名称は成人式として、副題に20歳の集いとかをつけるという案ですね。

町長 名称や副題は、実行委員会で検討してもよいのではないか

社会教育課 副題は変えてよいと思っています。今、実行委員会記念品については、実
長 行委員会を組織しているが、メンバーの多くは地元に残っている有志が中心
になって実行委員になっていただいて、式典の後のイベントの運営をして
いただいています。今の話で、副題を決めていただいてもいいと思います。
イベントの際の商品選定をおまかせしている。今後は、記念品につかっ
ていた窯元が亡くなれば、一つの区切りとして見直してもよいかなと思っ
ています。事務局が候補を選定して、選んでもらうということで進めたいが
いかかでしょうか。

教育長 実行委員会で選んでもらうということで、成人式の件はよろしいで
しょうか。

(全員、了承)

※その他の件で以下の報告あり。

社会教育課 上中山の水泳プールについては、ろ過タンクの修理が高額のため廃止の
長 方向で考えておりましたが、途中で小修繕も可能とのことから12月議
会に提案し、2月に修繕は終わっております。今後はこういう修繕は認め
ないということもあり、上中山地区の区長さんに集まっていただき、今
後はどうするかという検討をしています。上中山地区区長会、きばら
いや上中山、教育委員会で今後協議していくということで、3月に各
区長が意見集約をして持ち寄り協議することになっており、地区がNO
といった場合には、今の状態が維持できなくなれば廃止ということに
なります。

町長 どういう方向性にしても地域で話をしてもらって、そのうえで結
論を出してもらうのが大切だと思う。

